

第4回

前回 仙台うみの杜水族館

シナイモツゴ ↓

今回

ゴリラ

八木山動物公園フジサキの杜 橋本渉



八木山動物公園

「こ」で始まる動物について、多くの方が思いつくのはおそらく「ゴリラ」ではないでしょうか。人を含む霊長目の中で最も大きく、雄は200キログラムを超えるものもいます。今回は、八木山動物公園にいた人気者の雄ゴリラ「ドン」についてお話しします。

八木山動物公園は、昭和40年10月に現在の地に開園しました。その6年後、ニゴリラのドンは雌のローラとともに推定1歳半で来園しました。東北初のゴリラで、当時から大変な話題となり人気者だったと聞いています。

私が、新米獣医師として、ドンと出会ったのは今から27年前。ドンが25歳の時でした。まさに成獣の雄としてピークの時であり、そのたたずまいは凛として、威厳があり存在感に圧倒されたのを

覚えています。当然ながら新米の私なんか相手にしてもらえません。このままでは、健康管理どころか近づくこともできないため、当時の飼育担当者と同様に、毎日夕方餌をあげる時に立ち会わせてもらい、少しずつコミュニケーションを取っていきましました。大きな音を出して私をびっくりさせたり、飲んでいるミルクを突然かけてきたり、こちらの心を全て見透かしているかのようです。1年ぐらいたつと、いたずらもほどほどになり、こちらの声掛けにも応じてくれるようになりました。

そんなドンとの付き合いも10年を超えた頃のことです。季節の変わり目で風邪をこじらせたドンは、傍からみても辛そうでした。そんな時ドンの寝室を訪れると、注射してくれと自分から獣医の腕を出してきたのです。注射は痛いけど、その後楽になることをちゃんと分かっ

ていたのですね。ドンの晩年は、胸をたたくドラミングの回数もめっきり減り、筋肉の張りも少しずつなくなつて、何だか小さく感じることもありました。おじいちゃんになつても鋭い眼光は健在でした。天気の良い日に日なたぼっこを楽しみ、大きな病気もなく令和元年にゴリラとしては当時の日本最高齢の50歳（人というと90歳以上）で亡くなりました。ドンがいたゴリラ舎は当時のまま残っており、近くを通ると今でもドンが走って寄ってくる気配を感じる時があります。

さて、今回は「ゴリラ」の「ら」でつながるお話を。どのミュージアムが登場するのか、どうぞお楽しみに。

施設の催しについて詳しくは26ページをご覧ください



▲晩年のドン

おうち時間に親子でクッキング！

せんだいレシピ帖

ソーセージとにんじんナムルののり巻き



具はキュウリやチーズを組み合わせても彩りがきれいです。具の切り方や並べ方によって断面の見え方が変わるので、いろいろ試してみるのも楽しいですね。

材料（1人分）

焼きのり … 1/2 枚
ごはん…茶碗に軽く1杯分
白ゴマ … 大さじ2
魚肉ソーセージ… 1/2 本
にんじん … 中 1/5 本
☆しょうゆ… 小さじ1/2
☆ごま油 … 少々

問健康政策課 ☎214・3894

作り方

- ① にんじんは千切りにし、耐熱の容器に入れラップをかけて、電子レンジで1分20秒加熱する
- ② ①に☆の調味料を加えて混ぜ、にんじんナムルを作る
- ③ 焼きのりの手前側に魚肉ソーセージとにんじんナムルをのせ、巻いていく
- ④ ラップに白ゴマを散らし、その上にご飯を焼きのりと同じくらい大きさに薄く敷く
- ⑤ ④の手前に③をのせ、ラップで押さえながら巻く。ラップで包み、押さえながら形を整える
- ⑥ ラップを外し、包丁をぬらして切り分ける

お手伝いPoint

にんじんと調味料を混ぜる作業と、具をのせ巻く作業ができます。保護者の方が切り分ける際は、どんな断面になるかを一緒に見て楽しみましょう